

平成29年度 農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換会の結果（30年3月）

開催月日	参加者の概要等	主な意見	主な意見への対策
3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県集落営農法人会 委員 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見交換会の冒頭に農地中間管理機構から佐賀県江北町及び島根県出雲市での農地集約化の取組事例について説明した。 ○ その中で、本意見交換会に参加された各集落営農法人地区内の農地について、農地情報公開システム（農地ナビ）を活用して耕作者毎に農地を色分けした資料を配付した。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大分県 ・ JAおおいた ・ 大分県農地中間管理機構 <p>参加人数：10人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 農地集約化の資料は初めて見た。効率的な農業経営のためには、農地集約化は必要であると考えている。ただし、農地集約化について、農業委員会の協力が不可欠であると思うが、このような意見交換会などに農業委員会も参加してくれるのか。 ② 大分県集落営農法人会は、大分県農地中間管理機構と平成28年11月に農地中間管理事業の推進に関する連携協定を締結している。農地集約化は大変難しい取組であると思うが、集落営農法人会としても推進していかなければならない課題であるとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 農地集約化の推進について、現在、各市町農業委員会が管内に1か所モデル地区を設定するよう検討している。希望があれば、農業委員会と一緒に説明に伺うことを説明した。 ② 農地中間管理機構としては、農地集約化の取組を推進したいと考えており、貴法人会の総会などを活用して、関係者の方に説明することを伝えた。